【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第４区分
【発行日】平成23年3月24日(2011.3.24)

【公開番号】特開2011-8901(P2011-8901A)
【公開日】平成23年1月13日(2011.1.13)
【年通号数】公開・登録公報2011-002
【出願番号】特願2010-19273(P2010-19273)
【国際特許分類】
Ｇ１１Ｂ　5/31　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ１１Ｂ　5/31　Ｚ
Ｇ１１Ｂ　5/31　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成23年2月4日(2011.2.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５９】
ここで、図１に示したように、媒体対向面３０に垂直な方向についての近接場光発生素子２３の長さを記号H_{PA}で表し、第１の端面２３ａの上端部の幅を記号W_{PA}で表し、図１および図２に示したように、基板１の上面１ａおよび収容層２４の上面２４ｃに垂直な方向についての第１の端面２３ａの長さを記号T_{PA}で表す。媒体対向面３０に垂直な方向についての近接場光発生素子２３の長さH_{PA}は、基板１の上面１ａに垂直な方向についての第１の端面２３ａの長さT_{PA}よりも大きい。W_{PA}とT_{PA}は共に、後述する導波路を伝播する光の波長以下である。W_{PA}は例えば５０～３５０ｎｍの範囲内である。T_{PA}は例えば６０～３５０ｎｍの範囲内である。H_{PA}は例えば０．２５～２．５μｍの範囲内である。